

満 10 年を迎えた経済研究所

経済学研究科附属経済研究所長 宮 原 孝 夫

附属経済研究所は平成 8 年（1996 年）発足以来、この 3 月末で満 10 年を迎えました。その間、「国際（的視野に立った）地域経済分析」を課題として、プロジェクト研究を中心に研究活動を進めてまいりました。そして、その研究の成果を毎年「研究成果報告会」や「年報」の形で公表してきました。

従来「年報」はその年度の 1 年間の研究活動の成果を報告することを主眼としてきました。今年度の「年報」においてもそれは踏襲されていますが、10 年を迎えたこの機会に別の試みとして、単年度の活動だけでなく数年にわたるプロジェクト研究の全体像も分かるようなまとめもすることにしました。各担当者のプロジェクト研究は 2 年単位で区切りにしつつ一連の研究の積み上げとしてなされてきており、その一連の研究成果の全体像を明らかにしておく作業も大切なことと言えます。

研究所の個々の研究の成果を認識していただくと同時に、長期的な視点で見たときにも「国際（的視野に立った）地域経済分析」という研究所の研究課題が探求されてきていることを読み取っていただければ幸いです。

この 10 年間にわたる研究所所員の皆様方の研究の努力に敬意を表すると共に、今後の本研究所の研究活動が経済学研究科の研究教育活動および地域経済の発展にとってますます重要な役割を果たすことを願うものです。